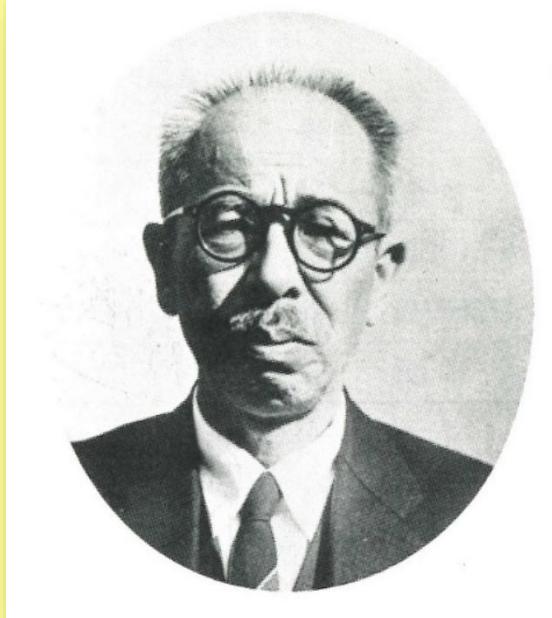


# 第30回 大田庄歴史館「わたしの企画展」事業

## 生涯を通じて地方自治の発展と戦後の世羅郡の礎を築かれた 「宮 中翁の事績とその功績」展

「昭和の佐倉惣五郎」と人々から尊敬と敬愛を受け、人間愛に満ち、人間の尊厳と命を救う取組みを実際にを行い、世羅町の礎(いしづえ)を築かれた旧・東大田村村長、旧・世羅町の町長 宮 中の、ほとんど知られていない人生・事績・功績を紹介します。



宮 中氏肖像(1897-1962)



戦後直後の食糧難  
きょうしゅつ  
の時に、供出米  
を村民に配給する  
よう独断で米倉庫  
を開放。処罰を受  
ける。

せら梨・病院・企業誘致 ゆうち

会期：令和8年1月26日(月)  
～2月27日(金)

主催：宮 中翁を世羅町名誉町民顕彰に推す会

期間中の休館日：火・水・木曜日

開館時間：10時から17時 (受付は、閉館30分前の16時30分まで)

会場：世羅町大田庄歴史館 2階企画展示室

広島県世羅郡世羅町大字甲山159番地

入館料：高校生以上210円(150円) 中学生以下100円(70円)

※常設展示室も見学できます。( )内は団体料金：20人以上。

ただし、次に掲げる方は入館料が免除となります。

①町内に居住・通学する小学生・中学生・高校生並びに学校引率者の方

②障害のある方並びにその介護者で、障害者手帳等の提示をされた方

都合により、予告なく開催内容を変更することがあります、ご了承ください。

大田庄歴史館で、展示・発表をしてみませんか？

大田庄歴史館、企画展示室を利用して、文化・芸術に関する個人のコレクションや団体の研究発表などをしてみませんか。詳しくは、大田庄歴史館 (TEL 0847-22-4646) 又は、教育委員会社会教育課 (TEL 0847-22-4411) へお問合せください。

## みや あたる 宮 中氏について

故 宮 中氏は、明治 30 年(1897)6 月 20 日に農家の次男として、世羅町東大田村大字本郷(現・世羅町)に生まれる。昭和 20 年(1945)、村民に望まれて東大田村の初代公選村長に就任。時代は、終戦後の極度の物資不足と食糧難で、政府は食糧緊急措置令を発布。農民から強制的に米を供出させる「強権供出」を敢行(かんこう)。全国の農家は逆に配給を受ける立場になる。世羅郡内も食糧事情は極度に逼迫(ひっぱく)。そうした事態に宮村長は、供出米を村民に配給するよう独断で指令を出す。これが「未指令出庫配給事件」として裁判となり、後に有罪となる。世にいう「昭和の米騒動」の中で、我が身を犠牲(ぎせい)にして食料を確保した英断は、「昭和の佐倉惣五郎」と称され、郡民の絶大なる信頼を得る。

※佐倉 惣五郎(さくら そうごろう):宗五郎とも書く。江戸時代に重税に苦しむ農民を救うため、将軍に直訴して妻子と共に処刑された人物。「義民」(ぎみん)と称された。

※この当時、吉田内閣の側近達は、閣議において農民は草の根を食せば事足りるとの発言があったことを、事実として公表している。

昭和 30 年(1955)、旧世羅町初代町長に就任。昭和 37 年(1962)6 月 5 日、行年 66 歳を一期として永眠される。同 8 日町民総意により町葬が挙行される。会葬者は、県知事代理、国会議員、県議会議員、近隣の町村長等、数千人が参列。

全国ブランドになった「せら梨」を試験栽培する農園の開園。16 箇町村を糾合し、公立世羅中央病院の設立。そして農村工業導入事業による企業誘致など、郷土の発展のために精力的に尽力された方でした。



### アクセス

#### お車でお越しの場合

山陽自動車道岡山・関西方面 尾道道尾道JCTから約 30 分

(尾道 JCT 経由→尾道道→世羅 IC 出口左折→国道 432 号線)

山陽自動車道広島・九州方面 河内 IC から約 40 分

(河内 IC→県道 73 号線→フライロード(出口直進)→県道 49 号線→フルーツロード→国道 432 号線)

米子道鳥取方面・松江道島根方面 中国道三次東JCT・ICから約 40 分

(中国道三次東JCT・IC→尾道道→世羅 IC 出口左折→国道 432 号線)

#### バスでお越しの場合

広島市方面 広島バスセンターから約 1 時間 30 分

広島バスセンター→甲奴行き高速バス=ピースライナー→中国バス甲山営業所  
南へ徒歩 5 分

尾道市・三原市・三次市方面 各駅前から約 50 分

(尾道駅・三原駅・三次駅各駅前→中国バス甲山営業所)

※中国バス甲山営業所から南へ徒歩約 5 分